

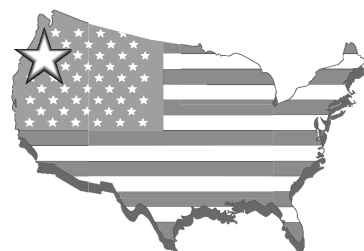


Tokyo, JAPAN

アメリカ留学日記 私の異文化体験記 (5)

早稲田大学文化構想学部 3 年

三浦 礼子



Portland, OR, U.S.A.

2009 年 9 月から 2010 年 6 月まで、オレゴン州ポートランドの Portland State University に留学しています。
このコラムでは、私の留学生としての「異文化体験」を記していきます。

ポートランドでのお花見

冬は気温も低く、憂鬱な空模様がが続いていたポートランドにも、ようやく春が訪れようとしています。日本で暮らしていたら欠かすことのできない春の風物詩、お花見。アメリカにいながらにして私も桜を楽しむことができました。

私が暮らすポートランド、ダウンタウンを東西に分ける川の近くには桜並木があり、満開の時期にはお花見を楽しむ多くの人でにぎわっていました。春を感じる出来事がもうひとつ。毎週末にダウンタウンで開催されているファーマーズマーケットです。冬の間は休業中のこのマーケットも、3月の末からまた再開されました。近隣の農家や農場、ベーカリーやフラワーショップなど、ポートランドのダウンタウンに住む人はもちろん、ポートランド州立大学に通う学生たちにもこのファーマーズマーケットは大人気です。行けば必ずといっていいほど、何人かの友達に出会います。ここ数週間で一気に春の訪れを感じ、それにつれて気持ちまで明るくなってきます。



ポートランドでの花見スポットにて

最後の学期！？

課題や予習に追われてめまぐるしく過ごしていた冬学期を乗り越え、春休みで思う存分に羽を伸ばしたもつかの間、とうとう留学プログラムの最後の学期をむかえてしまいました。

同じ大学に留学している友達のほとんどが、「早すぎる!」と言っています。春学期は6月の中旬に終わり、本来ならあと2カ月でアメリカでの留学が終了です。でもそれがまったく想像できず、まだまだここにいたい、今のままではまだ帰りたくないという思いから、私はこの夏もここに残って夏学期の授業を受講することに決めました。早稲田大学が学生に提供している留学プログラム、多くが秋学期から春学期までの約9カ月間を海外の大学で学ぶように予定されています。去年の秋から留学生生活を始めたほとんどの学生にとっては、3月の末から始まったこの春学期が留学先で過ごす最後の学期です。嬉しいことに、私の留学プログラムでは希望者は夏学期を追加することができるため、日本に帰国するのは8月の末に先延ばしです。

この夏をどう過ごすのかは人それぞれ。日本からの同じ学年の留学生は、秋の就職活動のためにプログラム終了の6月に帰国を予定し、また別の留学生はビザの有効期限をぎりぎりまで使ってアメリカ内の旅行を計画しています。アメリカ人の学生は、夏の授業を取らずに実家に帰ったり、長い休みを利用してインターンをしたりと、通常の期間よりも大学内は現地の学生がだいぶ減ってしまうそうです。アメリカ旅行も興味がある。日本に早く帰って就職活動を始めてみるのもいい。でもやっぱり、ここでの学生生活をできるだけ長く過ごしたい。

最近すっかりアメリカの大学に通っていることが当たり前になってしまっていたけれど、留学は自分の中でどうしてもやりたかったことのひとつ。留学期間の延長という選択。せっかくアメリカの大学で学生生活を送れるチャンスを最大限で生かそうと思います。